

議会だより

# 京丹後

9月定例会の内容を中心に伝えします。

## 12月定例会の予定

- 11月28日 / 本会議 (招集日)
- 12月 8日 / 本会議 (一般質問)
- 12月11日 / 本会議 (一般質問)
- 12月12日 / 本会議 (一般質問、議案審査)
- 12月21日 / 本会議 (最終日)

(久美浜町三原)

— 平成30年2月発行 議会だより京丹後の表紙写真を募集いたします —

●お問い合わせは議会事務局へ (TEL.0772-69-0010)

平成29年9月定例会は、8月30日から10月4日（36日間）の会期で開催しました。  
平成29年度一般会計・特別会計・企業会計をはじめ、補正予算第3号～第5号や条例など  
議案46件、陳情2件を審議しました。

# 9月定例会

## ◎台風18号 災害復旧に8億882万円

平成29年9月17日・18日に発生した台風18号の災害復旧対策費を計上。  
緊急復旧事業の他、市民の生活再建や被災した中小企業者など再建を後押し。（⇒P.10補正5号）

## ◎エコエネルギーセンター廃止へ

発酵消化液の漏出事故や莫大な長期修繕費などが要因となり活用を断念。  
（⇒P.9条例廃止、P.11補正第4号）

## ◎市民に親しまれる図書館構想を

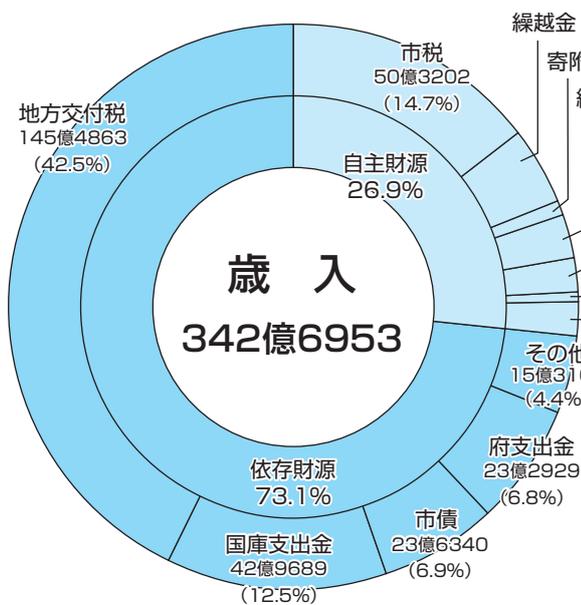
9月に予定されていた答申の協議延長を受けて附帯意見。  
都市計画の拠点施設としての位置づけも必要との意見も。（⇒P.5文教厚生分科会、P.7附帯意見）

## ◎有害鳥獣処理施設の早期整備を

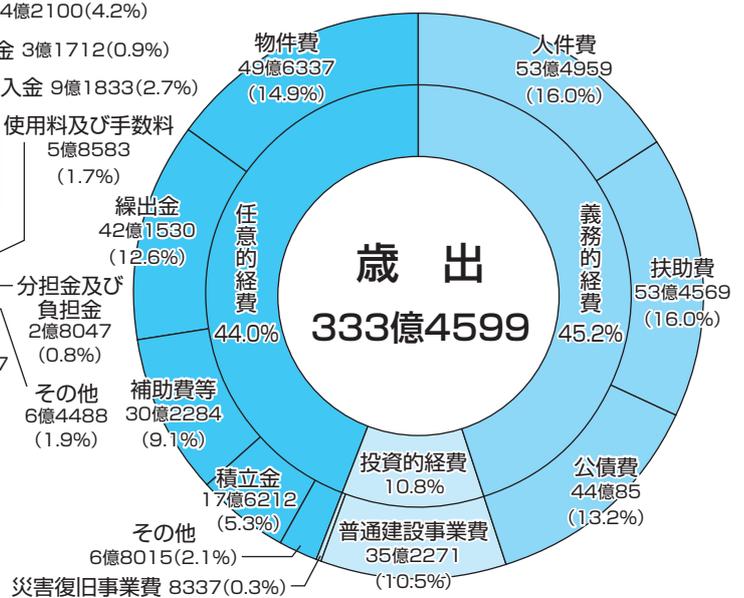
捕獲頭数に対して、猪・鹿肉処理施設は想定を超えて運用され、埋設処分が困難な状況が続く。  
個体処理を喫緊の課題として、早期の施設整備を求める。（⇒P.6産業建設分科会、P.7附帯意見）

## グラフで見る一般会計決算（平成28年度）

〈歳入〉



〈歳出〉



(単位:万円)

## 財政健全化判断比率は、4指標とも健全

実質赤字比率：黒字、連結実質赤字比率：黒字

実質公債費比率（3カ年平均数値）：10.7%（前年度12%）、将来負担比率：90.9%（前年度97.2%）

## 特別会計・企業会計決算

# 厳しい経営状態が続く

## 一般会計からの繰入金に注視

### ◎公共下水道事業 接続率の向上が課題

公共下水道の水洗化率は54.4%。下水道処理区域であっても地域間で格差がある。事業収益の改善の面からも接続率の向上は必要だが、減債基金残高57万円では、一般会計からの繰り入れがないと継続できない状態。公衆衛生の向上と河川や海などの水質保全の観点からも接続率の向上は欠かせない。

### ◎簡水・水道事業会計 平成31年度経営統合へ

平成29年度に予定していた経営統合は、国庫補助金の減額によって、統合事業の延期が余儀なくされた。経営統合を控え、隔月検針としたことにより経費が削減されたが漏水の発見遅れ、人口減少や節水意識の向上等による水需要の変動、老朽管の布設替えによる有収率向上などを課題として指摘した。

### ◎病院事業会計 医師招へい、人材不足が課題

弥栄病院・久美浜病院とも、外来患者、入院患者が減少し、医業収益が減少している。市立病院経営計画に沿って経営改善に取り組み、研修医を都市部から36名受け入れ、地域医療人材の育成と医療体制の補完に努めているが、府立医大、北部医療センターから医師派遣に頼らざるを得ない状況であり、常勤医師の不足は課題である。

#### 《一般会計から繰り入れをしている特別会計・企業会計の状況》

会計名称		歳入	歳出	形式収支	一般会計繰入金	
特別会計	国民健康保険事業	79億7905万円	78億1867万円	1億6038万円	4億8818万円	
	国民健康保険直営診療所事業	4億1135万円	3億7161万円	3974万円	7650万円	
	後期高齢者医療事業	6億9403万円	6億8846万円	557万円	2億3665万円	
	介護保険事業	61億0640万円	60億5155万円	5485万円	8億4766万円	
	簡易水道事業	14億4147万円	13億8321万円	5826万円	3億8332万円	
	集落排水事業	4億1539万円	3億9071万円	2468万円	2億4300万円	
	公共下水道事業	26億9081万円	26億4660万円	4421万円	7億5900万円	
	浄化槽整備事業	2億8558万円	2億6698万円	1860万円	9800万円	
	工業用地造成事業	1億8944万円	1億8731万円	213万円	1億8390万円	
企業会計	水道事業	収益的	6億6467万円	7億2414万円	△5947万円	1億0246万円
		資本的	1億9817万円	4億8421万円	△2億8604万円	
	病院事業	収益的	65億4038万円	64億9714万円	4324万円	9億1442万円
		資本的	12億1413万円	14億1113万円	△1億9700万円	

## ～平成28年度 決算審査～

### 主な課題と論点!

### 総務分科会

厳しい財源の中、税・料金の未収金対策は十分か  
人口減少対策に向けた取り組み強化を  
市民局を拠点としたまちづくりの課題を議論



空き家対策、利活用の促進を

#### 税・料金の未収金対策は

**問** 財源の適正な確保に向け、未収金の時効消滅を回避せよと、監査も指摘しているが、税や料金の未収金対策はどうか。

**答** 税は税機構と連携し取り組んでいる。また、事業者へ特別徴収の推奨を進める。料金は所管課で滞納整理計画を立てて、財産の調査や差押え等を行うよう対応している。

#### 市民参画・協働によるまちづくりの視点は

**問** 小規模多機能自治の取り組みは始まったばかりだが、地域にぎわい創り推進員の関わり方は。

**答** 集落等の持続可能な地域創りとして取り組むもので、市民局の存在は重要で、地域にぎわい創り推進員が支援に入る。

**問** 市民局が拠点となり、どのようなまちづくりを目指すのか明確な方向性が必要では。

**答** 各市民局で、住民参画・協働型の地域まちづくりのビジョンを描き、それに基づいた活動の展開ができるよう、今後方向性を協議する。

#### 移住促進・空き家対策の強化を

**問** 空き家対策、住環境の形成や人口減少対策など多岐にわたる課題があるが、支援体制の強化は必要ないのか。

**答** 支援員一人の配置では限界がある。実際に空き家がある地域の課題として、市民局や地域にぎわい創り推進員の対応が重要である。府の補助は集落の存続が困難な場所など特定区域への移住が対象で、市が対象を広げて支援している。体制については専門部署の必要性も含めて検討する必要がある。

### 分科会での主な意見

- 税や料金の負担の公平性の原則にたち、本気度を示すためにも職員体制の強化が必要である。各担当課において未収金に対する徴収のより積極的な目標を設定し、取り組む必要がある。
- 地域振興交付金について、人口が減少しても世帯数が増加しているため、交付金は増えている。算出方法が検討課題とされているが、地域は行政の事務を行う組織としても重要な役割を果たしており、これも勘案し検討すべきである。
- 全国的にはマダニが媒体する感染症について、ペットを介して人間がかまれ、感染するケースが発生している。防疫対策として、行政は動物病院等からの情報収集に努め、市民に注意喚起するべきである。

# 主な課題と論点!

## 文教厚生分科会

### 市立図書館のあり方や、整備についての附帯意見提出 医療体制、障がい者支援の充実に向けて審査



市立図書館の整備が急務

#### 病院の医師招へいや医療体制の充実

**問** 医師の招へいや地域包括医療ケア体制の推進における、状況と課題は。

**答** 担当課や両病院が精力的に医師の招へいに努めている。医療確保奨学金貸与者が市立病院に勤務してもらえるようPRも重ねている。訪問看護ステーションの充実、訪問診療の展開など、地域包括医療ケアを充実させている。医療に至るまでの介護や、生活支援の仕組み、人手不足などが課題である。

#### 市民に親しまれる市立図書館になっているか

**問** 市立図書館の現状と課題は。

**答** 峰山図書館は立地や老朽化などの課題がある。網野図書館が一番新しく充実している。他の4室は蔵書が多く圧迫感があり、スペースも十分ではない。現在図書館協議会に図書館の課題や今後の方向性等を諮問している。

**問** 図書館協議会の答申はいつ出されるのか。

**答** 当初29年9月を予定していたが、他の施設などの関係もあり平成30年3月以降の予定。

**問** 図書館職員の体制は十分か。

**答** 司書資格のない職員もいるが研修等で対応している。

#### 乳幼児から大人まで切れ目のない発達支援体制を

**問** 切れ目のない発達支援体制の充実に向けて、支援ファイルの共有など、体制は充実できたのか。

**答** 健康推進課、障害者福祉課、学校教育課、子ども未来課の4課で進めているが、現在支援ファイル「にじいろノート」の有効活用ができていない。どのように支援ファイルを普及・活用させていくのかが大きな課題である。

#### 分科会での主な意見

- 市民のニーズを反映した利用しやすく親しみを持てる図書館という視点では多くの課題がある。生涯学習の場としての図書館のあり方を見直す必要がある。図書館整備についての附帯決議をつけるべきである。
- 医療対策一般経費について、医師の招へいについては、本市の重要課題であり引き続き京都府並びに府立医大との連携を図って、医師の確保に努める必要がある。
- 発達障害児等早期発見・早期療育支援事業について、専門家を配置した課を立ち上げるなど体制の一本化が必要である。子育て支援の責任をきちんと果たすべきである。

# 主な課題と論点!

## 産業建設分科会

### 有害鳥獣処分の施設整備が必要と附帯意見 インフラ整備と維持管理、産業振興、滞在型観光など、 第2次京丹後市総合計画の視点から指摘



活用が期待される新シルク産業創造館

#### 有害鳥獣処分施設の早期整備を

- 問** 埋設・焼却処分する場所が確保できれば、捕獲頭数は増加するのか。
- 答** 捕獲頭数は一定で推移しているが、現実的に埋設処分が非常に困難で、早急に対応しないと、猟友会に負担がかかり辞めていく。
- 問** どのような解決策を講じるのか。
- 答** 処分方法については決まっていない。12月ぐらいを目途に結論を出したい。

#### 新シルク産業創造事業の成果と課題を検証

- 問** 京都工芸繊維大の無菌周年養蚕飼育の総括は。
- 答** 28年度、基礎的な研究を進め安定した繭ができている。研究の進め方は大学と協議している。
- 問** 今後、産業として成り立つ見込みはあるのか。
- 答** 大学もビジネス化に向け商社・メーカーへPR。市内事業者も参画する仕組みとしている。
- 問** 信州大と連携した研究開発は終了するのか。
- 答** 企業からの希望があればマッチングする。

#### 山陰近畿自動車道の延伸、地籍調査が課題に

- 問** 地籍調査事業の進捗状況はどうか。
- 答** 28年度末で10%、繰越分もあわせると約36%の予定である。
- 問** 現状の職員体制で課題はないのか。
- 答** 29年度に体制強化したが職員の負担は大きい。31年度に峰山までの区間は終了するが、引き続き網野までの事業化に向けて、先行して地籍調査を実施する必要がある。人材育成についても課題である。

#### 分科会での主な意見

- 新シルク産業創造事業で、繭の量産化が研究され高付加価値の商品が生まれる可能性に期待したい。以前の附帯決議では、成果と課題の検証を議会に報告することとしているが、所管調査する必要がある。
- 有効求人倍率1.59は非常によい。市内人材を確保する就職フェアを開催して12人の採用があった。U・Iターンや高校生への魅力発信により、人口減少に歯止めをかけ、一層京丹後の魅力を発信いただきたい。
- 公共下水道特別会計の収支は黒字だが、一般会計からの繰入が7.6億円程度あり財政状況は非常に厳しく、接続率が54.4%と低く課題。減債基金残高が57万円しかなく、一般会計からの繰入はやむを得ない。
- 水道料金の未収対策として給水停止、分割納付などで対応しているが、なぜ払えないのか検証は必要である。

# 一般会計 決算認定の討論

## 反対討論

●地区要望がどれだけ反映されているのか。市民の安心安全を守るための施策は最優先に考えなければならぬ。地区要望は地域の生の声であるため、地域の声をしっかりと受け止められる予算配分と、その実現できる仕組み作りが必要である。

●子育て政策について、大宮北保育所やこうりゅう保育所が公設民営化した。大宮北保育所は、国や府の補助を受けているため、今後10年間は完全民営化できない。本当に、公設民営が必要であったのか、大きな疑問が残る。また、切れない発達支援について、関係部署が連携し、支援の構築を目指してきた。

しかし、発達支援ファイル」にじいろノート」

の活用課題があり、この事業が後退しているように思う。専門員の配置や体制の抜本的な見直しが必要であると考える。

●米軍Xバンドレーダー基地に関する市民の安心安全の絶対確保という観点で、不十分極まりないと考える。24時間365日やむことのない騒音、繰り返される交通事故への対応は、米国や防衛省への要望や、お願いを繰り返すだけである。

市民に対する安全安心を無視した運用が行われていると言わざるを得ない。市の安心安全に対して不十分であり、課題があると考える。

## 賛成討論

●子育て世代包括支援センター事業について、妊娠期から子育て期までワンストップで安心して子どもを産み育てられる環境が整った。子育て環境の整備は出生率の増加や移住対策等、人口減少に歯止めがかけられる。

●児童生徒国際交流事業の中学生海外派遣について、グローバルな人材は今後の社会において重要であり、未来を担う子どもたちへ投資は必要不可欠である。京丹後市のグローバルな人材育成の第一歩が踏み出した。

【賛成16・反対4で認定】

# 決算認定にあたり附帯意見を提出

●図書館整備を進めることを求める附帯意見

近年の公立図書館は、

本を貸し借りする機能の他、子どもから大人まで多くの市民が集える場所としての複合的な機能を有し、市民の学びと育ち、教育の広がりを支える施設として、まちのシンボル、市民の誇りとなっているものが増えている。

館協議会に将来の図書館のあり方について諮問し、その答申を待っているところである。

また、平成28年7月に議決した京丹後市都市計画マスタープランにおける、都市拠点としての文化施設やにぎわい広場など、都市施設整備の具体化も必要である。

これらのことに鑑み、市議会として、市に対してのことについて強く求めるものである。

将来の図書館のあるべき姿も踏まえ、市立図書館の整備を早急に検討すること。

●有害鳥獣の個体処理施設の整備に関する附帯意見

施設について意見を付したところであるが、具体的な対策がなされていない。

この間、農作物被害は前年比で約46%の減少は評価するものの、猪・鹿肉処理施設は想定した処理能力を超えて運用している状況に加え、埋設処理も非常に困難な状況にある。また、捕獲班員や猟友会員の減少がみられる。捕獲後の有害鳥獣の個体処理は、捕獲班員の負担が大きく、今後も個体処理が困難な状況が懸念される。

こうした状況を総合的に勘案すると、有害鳥獣の個体処理は喫緊の課題であり、早急に具体的な処理方法を検討し、新たな処理施設の整備が必要である。

文教厚生分科会もかねてから図書館のあり方や、老朽化等の指摘をしてきた。京丹後市教育委員会、京丹後市立図書館

平成26年度京丹後市一般会計決算認定にあたり、有害鳥獣の個体処理

# 京丹後市立幼保連携型認定こども園条例の制定

第2次京丹後市保育所再編等推進計画に基づき、幼保一体化施設で運営している5保育所のこども園について、平成30年4月1日から幼保連携型認定こども園へ移行するため、本条例を制定するものである。

## 主な質疑

**問** こども園の一体化については、既に実施しているが、認定こども園に移行する理由は。

**答** 平成20年に丹後こども園として幼稚園と保育所を一つの施設で運営してきた。平成27年に法律が改正されたので、一つの法律の中で運営することで、より内容が充実すると判断し、移行することにした。

**問** 一つの制度の中の運用となるが、保護者は選ぶことができるのか。

**答** 現在の保育所も2号認定と3号認定となっている。保育料も含めて今

までと変わらない。二つの制度が一つの制度になる。

**問** 職員体制での課題はないか。

**答** 基本的には、入園募集の状況を把握して職員を配置する。認定こども園では、幼稚園教諭と保育士の資格が必要であるが、現在の保育士のほとんどが幼稚園教諭の資格を有している。

**問** 職員の配置基準はどうなるのか。

**答** 配置基準は、0歳から3歳未満は保育所と同じ

じ、3歳から5歳は、20人から35人であるが、本市は教育委員会規則で30人以下としている。

**問** 職員の負担増加にならないのか。

**答** 現実的には、既に実施しているもので、これ以上の負担はない。

**問** 認定こども園では、クラス編成はどうなるのか。

**答** 現在も午前中は一つのクラスで実施している。認定こども園になっても何ら変わらない。



元気に遊ぶ園児たち

## 反対討論

市の保育責任という点については、認定こども園は児童福祉法では24条2項に位置付けられた事業者と保護者の直接契約によって成り立つ施設で、24条第1項の市町村の保育義務に基づく施設ではない。第2次保育所再編計画に位置付けられ、平成33年までは京丹後市での責任が明確にされているが、その後の責任の根拠が弱い弱だと考える。幼・保一体となった大規模こども園化が進み、何年か経つ中で、園の運営でどのような問題や課題があるのか、総括がなされないままに認定化を行うことには問題がある。大規模こども園での保育の現状、初任者研修の問題、保育士の勤務シフトの複雑化、人員体制の問題、PTA行事や園行事の温度差など、検証しなくてはならない問題がある。

## 賛成討論

保護者の就労の有無に関わらず、就学前教育を提供する環境を整えるために、平成20年開設の『丹後こども園』から実質的に幼保一体化の運営方式を段階的に進め、さらには運営の研修や職員の経験を積む中で、認定こども園に移行することとなった。保護者の負担、サービスの、園の運営などの問題もない。今後サービスの保持と保護者へのニーズにより応えられるものと期待する。

今回提案された条例は、5つの保育所、幼稚園の併設施設を認定こども園に条例改正するものである。効果は、保護者の就労に関わらず、就学前の子どもを受け入れ、幼・保の教育を一体的に提供するものである。子育て環境が整備されることは、少子化が進む本市にとっても、保護者にとっても大変重要かつ意義がある。

【賛成16・反対4で可決】

### ○認定こども園の運営時間（上段：保育短時間、下段：保育標準時間）

	7:30	8:30	11:30	14:30	16:30	18:30	19:00
3号認定 (0歳～2歳)	延長保育	通常保育時間				延長保育	延長保育
2号認定 (3歳～5歳)	延長保育	通常保育時間				延長保育	
1号認定 (3歳～5歳)	通常保育時間	通常教育時間			預かり保育	延長保育	

(午前中は同じカリキュラムを実施)

### ○こども園のメリット

- ・ 保育と教育の一体的な提供
- ・ すべての子どもが利用可能
- ・ 保護者の就労状況等が変化しても、保育・教育環境が変わることなく継続利用

# エコエネルギーセンター条例の廃止について

平成33年3月31日までの期間、アマタ株式会社を指定管理者とすることを決定した。

しかし、本年5月に発酵槽内の消化液が漏れ出す事故が発生し、原因究明と漏れ防止対策を進めてきた。再稼働し、今後継続的に運用するためには、多額の経費が発生する。総合的に勘案した結果、事業再開は困難であり、閉鎖すべきとの結論に達し、平成29年10月31日をもって終了させるため、本条例を廃止するもの。

## 主な質疑

**問** 閉鎖後の財産は市の所有物と、アマタの所有物の二つになるという理解でよいか。また、今後普通財産となるため、管理、草刈り等が実施するという理解でよいか。

**問** 建物の中にある設備等はどうなるのか。  
**答** 11月以降、市の管理運営の中で、一定の処分を進めていく。

**問** 再生エネルギーに関する情報の発信、利活用に関する学習の普及、再資源化を促進する拠点としての総括は。  
**答** 情報発信、資源の利活用と環境に関する学習の普及は、小学校、高校などから、12年間で約6千人以上の見学者があり、環境学習など一定の効果があつた。再資源化については、食品系産廃を含み、市内企業からも受け入れられている実績もある。

**問** 今後、循環型社会の構築をどのように進めていくのか。  
**答** 循環型社会の形成という意味では、木質バイオマス、太陽光発電の再生可能エネルギーなどがある。エコエネルギーセンターは循環型社会形成という目的を達成する一つの手段であり、条例が廃止になっても、循環型社会の構築に向け、取り組んでいく。

**問** エコエネルギーセンター設置後の費用対効果は。  
**答** 市が想定した効果額は、平成21年度から平成28年度の8年間で、3億8180万円。負担額は9年間で2億8124万3千円であり、京都府からの未来づくり交付金を差し引くと2億6858万3千円となる。

## 賛成討論

● エコエネルギーセンターは、平成21年に当施設をNEDOから無償で譲り受けた。その後、循環型社会の形成を図るため、食品系未利用資源の再資源化を促進する拠点として整備された。しかし、市内の食品系未利用資源の再資源化は10%、家庭生ごみの資源化も中止となり、再資源循環化を図る拠点としての役割が果たせなくなった。また発酵消化液の漏れ事故、今後の莫大な長期修繕費用などを考えると、条例の廃止には賛成する。

● 無償譲渡の受け入れが問題となった議会で、次の3点を指摘した。一つ、今後の実運用、継続する事業の将来的に大きな負担となる。二つ、研究施設と

しての設計、建設であり自立運転、維持管理に大きな負担がかかる。三つ、産業廃棄物の原料は90%以上が市外から受け入れている。地域資源循環型とはとても言えないと、一貫して指摘してきた。引き続き、施設の管理、解体などの経費が財政課題として残る。到底続けることのできない施設であり、廃止に賛成する。

【全員賛成で可決】



議会による現地調査

# へ8億882万円

まち推進事業 45万円、除雪機械のレンタル 150万円  
5417万円、野村克也ベースボールルーム整備 1100万円など

被災者支援	5522万円
商工業支援	1567万円
農業者支援	775万円
災害復旧経費	6億2651万円
海岸漂着物処理	4580万円など

## 主な質疑

### 台風18号災害復旧対策

**問** 被害状況について全体を把握した補正か。

**答** 市道河川の9000カ所、農林関係で1000カ所以上の被害が出ている。

現在、詳しく調査を進めているので若干違ってくる。

**問** 予算枠を超える申請となった場合の対応はどうか。

**答** 不足した場合は補正で全て対応していく。

**問** 災害土砂等撤去補助金の補助対象は地区だけか。

**答** 地区で申請していたとき、市は経費の2分の1（上限30万円）を補助する。

京都府も10分の10（上限30万円）の補助事業を行っている。

**問** 経営支援事業について、対象は京丹後市商工会とあるが。

**答** 商工会を通して被災した中小企業者等への補助を行うものである。

**問** 被災者が生活再建を考えるうえで今後の被害防止対策は重要だが。

**答** 局地的な集中豪雨により被害が出ている。今後、小規模河川について防止対策を検討していく必要があるが、災害対応も含め考え方を体系的に整理していきたい。

**問** 一刻も早い復旧が求められているが、緊急

対応はこの補正で十分か。

**答** 緊急的な応急措置は予備費で対応した。その他の部分は補正予算で対応できている。

公共土木の災害査定が12月になるので本予算は12月補正になる。

### 市道維持補修事業

**問** 平成30年度の地区要望を前倒しとした理由は、今後どうか。

**答** 来年度予算執行まで待てないものを取り上げた。

今後もヒアリング等で地域の実態や現場を見ながら考える。



台風18号の影響で崩落した市道（丹後町矢畑）



台風18号で土石が流れ込んだ果樹園

平成29年度 一般会計9月補正予算

# 台風18号被害の復旧事業

◎主な補正：移住促進・空き家改修支援事業 1280万円、市道維持補修事業 1200万円、美食観光の織物産業生産基盤支援事業補助金 2631万円、エコエネルギーセンター閉鎖関連経費

## 野村克也ベースボールルーム整備

**問** 展示ルームの広さはどれくらいか。今後の維持管理費は発生するのか。

**答** 展示ルームは約100㎡となる。丹後地域場産業振興センターが運営していくので管理費はいらない。



展示ルームを整備するアミティ丹後

## 織物生産基盤支援事業補助金

**問** 申請件数が増加しているが、当初の見込みと今回の補正で全て対応できるのか。

**答** 平成27年度から3年間、京都府の生産基盤支援事業補助金と併せて補助してきた。最終年度であり駆け込み需要と考える。申請件数を見込んだ予算である。

## 除雪機械レンタル料

**問** レンタル会社からの除雪重機借上料と建設業者の重機の借上料に大きな差があるが。

**答** 災害などの危機管理の面から建設業界で対応できる重機の確保が重要である。今年度の除雪契約に向けて単価の見直しを検討している。

## 美食観光のまち推進事業

**問** 食の魅力PR動画はいつ頃できるのか。

**答** 平成29年度の秋、冬ぐらいから来年まで1年間撮り続ける業務の契約である。

## 移住促進・空き家改修支援事業

**問** 当初見込みが少なかったのではないかと補助対象はどうか。

**答** 移住係で相談を受けている案件が20件近くあり、その中で話がまとまる部分を補正で計上している。

また、府の制度は180万円、特別区域に指定した地域が補助対象となる。市の制度は90万円を受け入れ計画を作った地域が対象である。

## エコエネルギーセンター閉鎖の関連経費

**問** 指定管理者のアミタからの繰り入れがゼロであるかどうか。

**答** 5月18日から原料の受け入れをストップしていることから黒字になる部分が発生しなかったことによるもの。

**問** アミタの原料受け入れ先との違約金は発生するのか。

**答** 原料受け入れ先との違約金の発生については聞いていない。

**問** 施設内のアミタの所有部分の扱いはどうなっているのか。

**答** 今後の跡地利用の中で調整していかなければならない。

**問** 残りの液肥1800トンの散布は引き続きアミタが行うのか。

**答** 液肥の散布は整理保全業務委託の中に含まれているので、11月以降、市が直接管理する中でアミタに委託していく。



閉鎖されるエコエネルギーセンター

## 9月定例会 一般質問

## 市政を問う

～議会を傍聴しましょう!～

京丹後市議会

検索

<http://www.city.kyotango.lg.jp/shigikai>

一般質問を平成29年9月11日、12日、13日の日程で行い、17人の議員が質問し、市長や教育長に答弁を求めました。

掲載は質問順、内容は本人から提出された要約原稿です。また、ケーブルテレビ11チャンネルでの放送や京丹後市議会ホームページで配信していますのでご覧ください。

市長の方針がしっかりと伝わってこない

市長 さらに発信をする必要がある



創 明  
浜岡大二郎

**問** 市長の考えが市民は無論のこと、市職員にすら伝わっていないのではないか。

**市長** 総合計画の基本計画が私の基本方針である。職員はそれぞれの分野で基本計画の達成に向けて努力しているが、さらに発信を工夫する必要がある。

**問** 市の人口減少は国の予想する1.4倍の凄まじい勢いで進んでいる。市は減少対策本部を職員で組織しているが、新しい発想をするには過去に捉われない市民公募の委員で構成する考えはないか。

**市長** 市民の声も反映して減少のスピードを緩やかにしたい。

**問** 本市を地政学的に捉えると特徴ある資源を活かす「産業開発型二

に地域の創生をかけなければならぬと考えるのがいがか。

**市長** 市民がやりたいことにチャレンジできる体制を構築する必要がある。高齢者も活躍できる施策も重要と考える。

**問** 市民の多くは「この町にはもう時間が残っていない。こんな市政でよいだろうか。市長は京丹後市の将来のために何をしようとしておられるのか、ブレインはないのか、ブレインの声はお聞きになつていないのか」と強くいぶかっている。そういう不安や苛立ちに対してどう答えるのか。そしてどんな施策を来年30年度予算に計上するよう指示されたのか。

**市長** 自分の目指す方向

は選挙のマニフェストも盛り込んだ総合計画の基本計画に入れ込んである。この基本計画の達成を責務と考えている。市民の皆さんがマイノリティをさらに前向きに強く変えてもらえよう頑張っていくたい。対策本部の対策ができ次第、順次補正予算、来年度予算に計上するつもりである。



この子供たちの10年後の京丹後市は

## 過大な効果は議員をミスリードしたのはのでは

市長

効果が見込めると真剣に検討して提案した



創 明  
吉岡豊和

## 消防団員を応援する制度に 取り組んでいく

市長

調査研究をして積極的に取り組んでいく



新 星 会  
櫻井祐策

**問** エコエネルギーセンターを無償譲渡で受ける時の、提案説明の経済効果は過大だったのではないかと。多くの事業が惨憺たる結果で、議員をミスリードしたことにならないか。

**市長** 期待できる将来的効果として挙げていた。効果が見込めるものと、真剣に検討して提案した。

**問** 長期修繕計画の修繕費が63億円かかることなど、議会に報告する時期が遅かったのではないかと。

**市長** 修繕計画の調査報告は平成28年2月末にあったが、9月の決算審査時に説明すれば良いと考えていた。

**問** 市外の食品系産業廃棄物を主な原料としていたことは、市内資源

循環型の中核施設としていた事業としての整合性はあったのか。

**市長** 循環型社会の形成を図る一翼は担っていた。結果として、事業効果と市税投入の整合性において問題があったと総括している。

**問** バイオガス発電プロジェクトとなっているバイオマス産業都市構想への影響は。

**市長** 施設の閉鎖にともない構想自体が成立しなくなり、構想認定の取り下げや取り消しが考えられる。

**個人墓の移動、新設ができないか**

**問** 墓が山の上であり高齢者等が墓参りなどに行けない場合があるが、墓の移動、新設ができ

ないか。

**市長** 墓地に関する規則では、個人墓地を移転、拡張又は新設は許可しないとしている。

**問** ただし書きで「特別の事情がある場合はこの限りでない」とあるが、配慮があるのか。

**市長** 個々の事情により判断することになり、問い合わせがあれば相談に応じる。



施設が廃止となるエコエネルギーセンター

**問** 地域の防災意識を向上するためには、子どもから大人までが楽しく学べる防災訓練メニューを市が提示してどうか。防災を身近に捉え、一人一人が考え、気付くことで、防災意識の醸成につながるかと考えるが、市はどう分析しているのか。

**市長** 防災意識の向上のための出前講座、地域防災リーダー研修会や防災訓練を実施している。参加者は毎年増加している。課題は地域の実情に合った避難経路や要配慮者対策など、具体的な地区防災計画の策定をしていくことが防災意識の向上につながるかと考えている。

**問** 「自助」はもちろんのこと、地域では「共助」も重要と考える。地域

の任意組織である自主防災組織の現状と課題については。

**市長** 225地区中、166地区が組織し、組織率は73・8%である。課題は、少子化により、地区によっては中心的な役員の担い手がいない。

**市民と共に応援される  
消防团组织であるために**

**問** 地域防災の要となる消防団では、団員確保がどの地域でも課題である。綾部市では、「消防団員証明書」を発行し、地元商店の協力のもと、「消防団応援の店」となっていたが、団員はその加盟する店舗で割引やサービスが受けられる取り組みをしている。市はそういった



地域防災を担う消防団員の活動と市民

## 「図書館と子ども館」の複合施設の整備を

教育長 若い世代の子育て支援に応えるべきと考える



新星会  
金田 琮仁

## 中央図書館を建設すべきでは

市長 政策提言と受けとめ、検討する



政友会  
水野 孝典

**問** 大宮図書室と立地に課題のある峰山図書館

を一つにしてさらに充実し、また、子育て中のお母さんと幼児が一緒に過ごせる「図書館と子ども館」の複合施設を整備すべきだ。ハイハイしたり、ヨチヨチ歩きでこけても安全なじゅうたんのスペース。そんな我が子を見ながら、子育ての話や情報交換しながらのコーヒータイトムができる憩いの場。図書館との複合施設は、若い世代には大きなインパクトを与え、若者の定住促進にも大きな効果があると考えるが。

**教育長** 保護者がさまざまな情報を得たり、子どもが絵本に親しむなど、図書館と子育て支援の複合施設は大変

良い組み合わせであり必要性は感じている。一方で財政面からは慎重に考えなければならぬ。図書館協議会でも議論されているところだが、新設と既設施設の活用両面から検討し、若い世代の子育て支援に添えていくべきと考えている。

**今こそ合併特例債を活用すべき**

**問** 一般会計の市債(借金) 406億円のうち、約311億円は交付税という形で国が負担してくれているので実質の借金は95億円で、基金(貯金)は112億円ある。京丹後市のまぢづくりとして「やらなければならぬものはやらんなん」ということだと考える。合併特例債を活

用し本市のシンボルとしての「図書館と子ども館」の整備をすべきだが。

**市長** 人口減少対策は本市の最重要課題であるが、どんな事業にも財源は必要で、普通交付税の通減も進められており厳しい。合併特例債の活用期限は迫っているが、将来のために真に必要な事業は実施していく。



立川市の子ども未来センター・子育てひろば

**問** 市長、教育長の図書館認識はどうか。

**市長** 生涯学習の拠点であり、市民生活の重要な文化施設である。

**教育長** 従来の機能に加え課題解決や生活、仕事を支援する施設。

**問** 市立図書館2館4室の施設設備、蔵書や資料収集、サービスの現状と課題は。

**教育長** 図書室は狭い上天井も低く、蔵書増で圧迫感もある。峰山図書館は高台の3階で、蔵書の収納も限界。お話を学校等へ出前。諸課題があり、図書館協議会でいま審議中。

**問** 図書館利用、読書活動の現状と課題は。

**教育長** 平成28年度の貸出状況は統合時と比べ、やや減少。小学生の貸出しは多く、中高

生は少ない。家庭や学校、地域社会相互の連携が必要。

**問** ボランティアや関係団体の活動状況等、現状認識と課題は。

**教育長** 市内6団体のご協力がある。丹後町の絵本読み聞かせボランティアは今年度文部科学大臣表彰を受賞。

**問** 職員体制や勤務体制に課題はないか。

**教育長** 正職員2名の他は臨時職員。土日と平日の勤務体制にメリハリをつけている。

**問** 学校図書館の蔵書や司書教諭配置、稼働状況等の課題は。

**教育長** 蔵書の充実、授業・教育活動全体での利活用、司書教諭の完全配置などが課題。



峰山図書館の室内。改善と充実が望まれる

**市長** 政策提言と受けとめ、検討する。

**教育長** 団体貸出や、読書週間に図書館職員が出前指導等を実施。

**問** 図書館は町の姿を変え、子どもの育ち、市民の学びを支える重要な文化施設。峰山図書館と大宮図書室を一体化した中央図書館を市民生活の動線上に建設し、あみの図書館、図書室とも充実すべき。

### 地区要望について市長の考えは

**市長** 執行の前倒しを行い安心安全を進めていく



政友会  
平井 邦生

**問** 地区要望の優先順位の考え方と解決方法は。

**市長** 50万円以下の小規模事業においては、市民局と区長会との事業選定委員会において優先順位を決定し、市民協働の形で行っている。本年度は試行的に大規模事業においても検討を行っている。

**問** 地区要望は区単位だが、区長会や連合会が代表となり小さな区の要望ができないか。

**市長** 今は区単位だが、今後はケースバイケースで考えていく。

**問** どのような地区要望を実現するのが地域の活性化につながると考えるか。

**市長** 市民の暮らしが良くなるために地区要望の実現と、地域の活性化に向けて、安心安全、

移住定住など一つ一つの施策を着実に実現し、地域が元気に輝く市民主役のまちづくりの実現に向けて支援を行う。

#### 除雪について

**問** 除雪に対する課題・問題点や整理状況は。

**市長** 昼間の除雪開始の判断、交通量の多い中での交通規制、排雪場所の決定などである。地元との連携、協力体制等を把握し整理している。

**問** 民間の空地などを利用した雪の仮置き場、電気柵や道幅、障害物などを書き込んだ高機能除雪マップを、区、行政、業者、市民との協働の上で、除雪路線図ごとに作成し活用できないか。

**市長** 現在市内70業者が



除雪高機能マップの作成を

あり、それぞれ除雪のマップを持ってもらえるが、高機能マップは、業者の交代時やオペレーターとの交代などにおいてうまく活用できるように考える。路線上にある情報の提供、共有についてマップを作成することはとても有効なものになると考える。

### 教職員の長時間勤務の改善策を

**教育長** 職員定数の見直しが必要



政友会  
由利 敏雄

**問** 教職員の長時間勤務の実態は。

**教育長** 80時間を超える教員は25・3%。小学校の要因は、事務・会計処理、保護者対応、会議や研修。中学校では、問題作成や成績処理、部活動指導、事務・会計処理などとなっている。

**問** 中学校の部活動については、形式的な削減はすべきでない。部活動の意義をどう捉えているのか。

**教育長** 豊かな人間関係や心身ともに健全な育成を図るうえで意義がある。また、生徒と教師の人間関係を構築することもできる。

**問** 長時間勤務の改善に向けての具体的な対応策は。

**教育長** 職員配置や時

間なども含めて、校長会と協議し改善策を進めている。学校の主体性も重視している。また、調査等については、集約化や統一化により改善できている。

**問** 市の単費で職員を増員することは考えていないのか。

**教育長** 市の単費を導入する考えはないが、小中学校長会との連携、教職員の健康状況、府や国の動向も踏まえ、今後は考えていく。

**問** 夏季休業を短縮するという考えは。

**教育長** 全国的には実施している市町村があるが、子どもが自ら学習する時間の確保、社会教育としても重要な時期でもあり、夏季休業は必要である。

**問** 教職員の長時間勤務



夜遅くまで頑張っている先生

改善策として、夏季休業を検討する考えはないのか。

**教育長** 32年度の学習指導要領の見直しの際には検討する。

**問** 行政と地域が一体となり、教育に責任を担うべきでは。

**教育長** 今の段階では条例を制定することは考えていない。

## 有害鳥獣の捕獲個体処理施設の検討は

市長  
有害鳥獣個体処理検討委員会  
で検討する



政友会  
和田正幸

**問** 京丹後市における鳥獣被害防止計画は。

**市長** 防護柵により、被害防止効果を明確に反映させるため、シカ・イノシシの捕獲数増加に伴い、課題になっていく捕獲個体の処理方法を検討する。

**市長** 5500頭を、最低限の達成目標にしている。猟友会の協力で捕獲を実施して、シカ3271頭、イノシシ1824頭捕獲している。

**問** 捕獲個体は、猟友会の方が埋設処理している。猟友会の高齢化、担い手（新規）の不足している中、個体処理に係る労力と経費の節減になる有効な処理方法「タンパク質、炭水

化物、脂質、繊維質を素早く分解することができ、エスパス菌を使用した「個体処理施設」を、各町に一カ所設置するべきだと思いが、個体処理の今後の考えは。

**市長** 有害鳥獣個体処理検討委員会でも、焼却施設や微生物による減量化施設などを検討している。委員会での検討結果を基に、対応方針を決定する。

**問** 給食米を農家から学校給食会から、給食米を年間5万3430キ口購入している。

5万3430キ口を30キ口で割ると1781袋になる。一キ口348円で、30キ口を掛けると1万440円になり、1万440円から



鹿の被害

## 米軍基地対策の検証とアンケートの実施を

市長  
その都度確認しながら改善向上を求める



日本共産党  
田中邦生

**問** 市民から騒音や交通安全等に対する不安が寄せられている。米軍基地のあらゆる不安を解消する仕組みは十分か。集団居住や通勤の進捗はどうか。

**問** 平成30年から農業者戸別所得補償が廃止される。農家は直接減収につながり営農の見通しが持てない。制度の継続を求めるとともに米作りへの支援強化が必要だが。

**市長** 実施してきた対策の検証と不安を把握する住民アンケートの実施が求められているが。

**市長** 戸別所得補償の廃止は、大規模農家への影響が懸念される。今後、京都府と連携しながら特別栽培米の推進、農業機械の導入補助、農地集積などを推進していきたい。

**市長** 騒音防止へ商用電力導入の前倒しを求めている。交通安全対策として安全講習会やDVDの活用をしている。集団居住・集団通勤は、その都度確認しながら向上を求める。

**問** 近隣町の共同作業所では、ハウス8棟で9条ネギの栽培を行っている。また、ネギ農家に向するなど地域になくはない存在となっている。本市のまちづくりと

住民からの要望や問い合わせには基地対策室と安速連で対応できしており、住民アンケートの実施はしない。

戸別所得補償の継続を

農福連携の推進を



農業者戸別所得補償の継続を

## 箱石浜ユウスゲ。シカの食害 対策を急げ

**市長** 環境省の調査結果をもとに対策を考えたい



日本共産党  
橋本まり子

**問** 箱石浜のユウスゲの鹿食害調査の状況と対策の進捗状況は。

**市長** 環境省が調査中である。秋ごろまでには調査が終わるので、周りの農地や、景観への配慮もしながら、結果に基づいて対策を考えたい。国府の交付金もあたっていきたい。

意見も言い、要望している。

**問** 丹後の高校生や保護者の通学の負担をわが事として捉え、通学費の補助制度の拡充を要望すべきではないか。

**教育長** 現在、市の通学補助はしていない。府の制度を確認し、府に要望等相談していく。

**問** 分校再編の状況はどうか。

**教育長** 具体的には聞いていないが、小規模できめ細やかな分校での教育内容を継承し、充実させることが必要だと府教委へ要望する。

**問** 原発の核のゴミの地層処理について

**問** 高レベル放射性廃棄物の最終処分に関する科学的特性マップが示され、京丹後市は適性

**教育長** 具体的には聞いていない。学校内での検討はされていると聞く。常に「魅力ある学科」「進学できる学科」等、府教委には子どもに良い教育を大前提に



こんな風景が一日も早く戻ります様に！

な地域となつているが、調査に関しての打診はあったのか。また、あれば受けるのか。

**市長** まだ何もないので答えられない。

**問** 原発の核のゴミをふやす再稼働にきつぱりNOを示すべきだが。

**市長** 今までと考えは変わらない。原子力が不要になる日が一日も早く来ることを願う。

**教育長** 京都府丹後文化会館の老朽化による大規模改修の必要性を認識している。京都府との話し合いを進めている。施設の改修は、耐震も含めて市民ニーズに合ったリニューアルを考えていくように協議している。

## 京都府丹後文化会館改修計画 の現状と進捗は

**教育長** 京都府と耐震を含めて改修協議を進めている



日本共産党  
松本直己

**問** 京都府丹後文化会館の音響、設備等施設の老朽化が進んで、他の施設で行えるような全国レベルの催しができなくなつてきている。京都府への要望を行い、改修計画を立てていかなくてはならないと考えるが、要請や改修計画の現状はどうか。

**教育長** 京都府丹後文化会館の老朽化による大規模改修の必要性を認識している。京都府との話し合いを進めている。施設の改修は、耐震も含めて市民ニーズに合ったリニューアルを考えていくように協議している。

**問** 『文化芸術振興基本法』の一部改正について

**問** 国の『文化芸術振興基本法』の一部改正が

行われ、『文化芸術基本法』と改められた。国が、地方自治体に『地方文化芸術推進基本計画』策定の努力義務を課しているが、市の対応はどうか。

**教育長** 国の計画を参考にしながら地域の特性を生かした計画として検討していきたい。

**問** スポーツ振興の予算から比べると文化芸術振興の予算が少なすぎるといふ市民の声がある。音楽、美術、演劇、映画の鑑賞支援事業費、地域のアート展、芸術家の企画への補助支援事業費についても少ないと考える。市民の声をどのように受け止め、文化芸術活動の支援事業



老朽化で改修が必要な京都府丹後文化会館

## 入学準備金支給時期の前倒しを

教育長 3月末支給を検討している



日本共産党

平林智江美

**問** 中学生の入学準備には多額の費用が必要である。就学援助制度の利用者へ、入学準備金を前倒し、支給を行うべきであると提案してきた。3月議会の答弁では、検討するとのことであったが。

**教育長** 今年度は、支給月を7月から5月へと早めた。

また、1月末の入学通知後、支給事務の見直し、制度確認が間に合えば平成30年度入学予定者から、3月末支給を検討している。

**病院の窓口支払いの免除・減免を**

**問** 国保法44条では、加入者に特別な理由がある場合、窓口で支払う医療費や薬代を減額・免除・徴収を猶予する

ことができる。しかし、近年利用されていない。制度を周知し、支払いの心配なく受診できるようにすべきであるが。

**市長** 市のホームページなどで広報していく。恒常的困窮者には、寄り添い支援センターで、対応していくことが多い。

**問** 病院等の窓口申請書において、この制度をもっと知らせていく必要があるが。

**市長** 利用ができるのは、特別の事情がある時なので、窓口に置くことはなじまない。

**エコエネルギーセンターの総括について**

**問** 中止の決断は評価するが、多額の改修費がかかるという段階での閉鎖は考えなかったの

か。

また、21年に提案された経済効果、1億6700万円の事業の総括をされたのか。

**市長** 早急に検討がいろいろあった。生ゴミ資源化については、多額の費用がかかるので、拡大をストップした。経済効果については、将来事業化できると信じてきた。



中学入学には自転車も必要

## 網野ICから豊岡までのルート決定について

市長 戦略的なルートを検討する



丹政会

中野勝友

**問** 山陰近畿自動車道早期実現推進大会のシンポジウムとは。

**市長** 住民一丸となり気運を高めるため、シンポジウムを開催する。知事や国交省などの行政関係者、またコーディネーターとして内閣官房参与の藤井聡氏をお招きする。

**問** 網野ICから豊岡までのルート決定についての検討はどうか。

**市長** 府とも連携しICやルートを検討したい。網野から久美浜を経由する。時間距離や速達性だけでなく、戦略的なルート案を検討したい。

**問** 要望活動について行政だけでは限界がある。地域住民一丸で取り組む必要があるが考えは。

**市長** 国や国交省を訪ね

訴えてきた。国交省では本道路の必要性は疑うところではない、との言葉を頂戴するまでとなった。また本市宿屋女将さんの会代表に同行いただいたが大変有意義であり、地元住人の声が必要である。

**問** 整備にあたり地元企業が受注できるのか。

**市長** 大宮、峰山道路の総事業費は約160億円であり、事業も効果も大きい。直轄事業として全てが地元企業ということとは現実的に難しいが、実績が無くて企業も参加できるチャレンジ制度があり、地元企業が参加できるように取り組みたい。

**問** 労働人口減少への対応と計画はあるのか

**労働人口減少に対す**

る市の認識はどうか。

**市長** 有効求人倍率は1.59%と非常に高く慢性的な人材不足と言える。

**問** 外国人労働者の議論もあるが市の見解は。

**市長** 議論のあることは認識している。働く人の立場でAIやIoTの様な生産性の向上を目指すことも必要である。



広がる新たな経済圏

## 職員も住民と共にまちづくり を考えていくべき

市長 一緒に進んで進めていきたい



丹 政 会  
東 田 真 希

**問** ごみ処理基本計画通りにごみの減量が進んでいるのか。

**市長** リサイクル率と焼却処理量は未達成。雑がみの分別の低迷が原因と分析している。

**問** ごみ処理経費で毎年9億近いコスト、峰山焼却場も長寿命化の工事費が18億かかる。ごみの処理に多大な費用、労力、環境にも負担がかかる。ごみの減量を進めるために、持ち込みごみ処理手数料の改定などの検討は。

**市長** 告示産廃受け入れ中止の効果が得られない場合には検討する必要がある。

**問** 生ごみの分別、再資源化が終了になった。この高まった意識を維持させるための取り組みは。

**市長** 生ごみの再資源化にコンポストの補助金再開を検討していききたい。

**問** 市民、事業者、行政が一体となってごみを出さない取り組みを考へるべき。ごみ減量で浮いた費用は例えば子育て、福祉などの施策に回せる。これから推進をどうしていくのか。

**市長** 各担当でしっかりと取り組み、市民と進めていく。意識の啓発と適正な処理費用を負担していただくことも必要だと考えている。

京丹後市を担う「ひとづくり」について

**問** 若者、女性の意見をとり入れた成果と今後どう進めていくのか。

**市長** 京丹後未来ラボの創設や、女性団体活動

の広がりにもつながった。まちづくりに女性参画を促進し、活躍を進めたい。

**問** 職員にもまちづくりについて意見を聴く取り組みは。

**市長** 課長級で人口減少対策のワーキンググループがあり議論している。また若手職員の意見を聴く場も検討している。



ごみを減らし環境にやさしい社会を目指そう

## エコエネルギーセンターの 総括は

市長 振り返りながら今後の政策に  
活かしたい



丹 政 会  
池 田 恵 一

**問** エコエネルギーの現状と課題について、総事業費と経済効果はどうか。

**市長** 支出ベースで5億3164万円、経済効果は3億8180万円と試算している。

**問** 職員の人件費は。

**市長** 平均1・5人で業務に携わったとして7年間で7900万円である。

**問** 結果として廃止になるが市長はどのように総括しているのか。

**市長** 市の施策に大きな影響を与える施設であった。しかし、発電施設でありながら、自らの施設の電力も賄えなかった。また、農業についても後付けと言わざるを得ない。

**問** この事業の失敗は、生ゴミでも、農業でも

下からの合意形成が足りていなかったのではないかと。議会も議論が足りなかったと反省すべきと思う。

**市長** 将来に渡って市民がどう関われるのか、また、投資効果の検証が足りなかった。無駄だけに終わらせないよう、振り返りながら、今後の政策に活かしていきたい。

こうりゅう保育所の無償譲渡は適切か

**問** 市民の財産である9千万の市の施設を無償譲渡したことについて、説明責任は果たせたと考えているのか。

**市長** 無償譲渡について全体的な市の考え方を説明した。細かい数字についての説明が不足していた。



エコエネルギーセンターの総括は

### 北朝鮮ミサイルの脅威に、市は！

市長 外交・防衛の問題。政府の対応策に期待する



清 和 会  
行 待 実

**問** ミサイル関連情報は極めて重要。平時から関連情報の入手に心がけているのか。

**市長** 国や防衛省から市への特別な情報は無いが、国の情報は府を通じて入手。fax、メール、TV会議等でも最新情報は入手。職員間で情報共有はしている。

**問** 計画で対応する。市民も有事での最低限の知識と行動認識は必要。市独自の情報・避難訓練の対策は。

**市長** 国や防衛省から市への特別な情報は無いが、国の情報は府を通じて入手。fax、メール、TV会議等でも最新情報は入手。職員間で情報共有はしている。

**市長** ミサイル攻撃など国民保護事態の場合は国の指示のもと国・府・近隣市町と連携した対応となる。協議して対応を考えたい。

**問** ミサイルは通常の災害対応と違う。市防災計画に「ミサイル防衛編」を加えるべき。

**市長** 市防災計画は自然災害への対策。今回の武力攻撃には国民保護

**市長** 河川の特徴と堆積の度合い、民家との距離等を勘案し被害が予測される箇所を優先して浚渫を行う。



刈り取った「葦」を重機で搬出(溝谷川)

て美観を損ねる。早急に伐採が必要だ。

**市長** 集落の府民公募型事業の要望で対応。

**問** 溝谷川は堤防が高く河川内の刈った草はやむなく重機で堤防上まで搬出するが、重機代は草刈委託料に含まれず、他の河川と単価は同額。単価の見直しを。

**市長** 安価だと理解する。単価の増額は引き続き府と協議する。

### 合併特例債活用で市民へのビジョンを示せ

市長 平成30年度の予算編成の中で考えていく



無 会 派  
松 本 聖 司

**問** 合併後14年目を迎え、合併特例債等の財政メリットも平成31年度で終了するが、市政運営上どのような行政課題があると考えているのか。

**市長** 庁舎整備の検討、組織機構のあり方、地域経済・地域コミュニティに関わる人口減少問題等の課題がある。財政規律は前提ではあるが、合併特例債など有利な財源を最大限活用し、事業が集中することも視野に入れ、まちづくりを進める。

**問** 慎重な発言が大変多いと感じているが、市民に対し有利な財源を活用した具体的な将来展望を発信することにおいて、政治家として不足していないか。

**市長** 合併特例債を活用した基盤整備も重要だが、平成29年度に策定した総合計画で、方向性は示している。平成30年度の予算編成の中で考えを示していく。

**問** 図書館建設について

**市長** 大宮・峰山ICのアクセス道路も決まりつつある中で、遅きに失したと言われぬようまちづくりを進めて、都市機能の魅力を高めていきたい。

**市長** 複合施設の市民ニーズは大きくなっていく。準備はしている必要があるが、合併特例債活用については時間的な制約もあり、可能性も限られる。



図書館をまちの文化施設の中核に

## 陳 情

■9月定例会における陳情審査の結果は下記のとおりとなりました。

陳 情 名	陳 情 者	結 果
米軍Xバンドレーダー基地問題に関わる陳情書Ⅶ	米軍基地建設を憂う宇川有志の会 代 表 三野 みつる 事務局長 永井 友昭	不採択
(株)くみはま縣に関する陳情書	有田 光亨	不採択

## ■請願・陳情について

請願・陳情は、法律に定められた国民の権利であり、どなたでも提出することができます。このうち、請願とは、市政などについての意見や要望を、議会に直接、文書で提出することができる制度で、提出には市議会議員の紹介が必要となります。陳情は、請願と同じく文書での要望ですが、議員の紹介は必要ありません。

〈提出方法〉 文書は邦文を用い、趣旨、提出の理由、提出年月日、提出先（京丹後市議会議長 ○○○○様）、請願者（陳情者）の住所、氏名（法人の場合はその名称及び代表者の氏名）を記載、押印してください。

〈提出期日〉 毎定例会前に開催される議会運営委員会開催日の前々日の午後5時15分までに受理されたものについては当該定例会、その後に受理されたものについては次の定例会で、それぞれ取り扱いを協議します。

〈提出先〉 〒627-8567 京丹後市峰山町杉谷889 京丹後市議会事務局（郵送または直接持参）

## 議案に対する各議員の賛否一覧表

賛否の分かれた案件を記載しています。そのほかについては、全員賛成で可決されました。

会派名 議員名 案 件	議案の可否	政友会					丹政会				日本共産党			新星会		清和会		創明		無会派		
		由利敏雄	平井邦生	藤田太	水野孝典	和田正幸	池田恵一	谷津伸幸	中野勝友	東田真希	田中邦生	橋本まり子	平林智江美	松本直己	金田琮仁	櫻井祐策	中野正五	谷口雅昭	行待実	浜岡大二郎	吉岡豊和	松本聖司
京丹後市個人情報保護条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	欠	○	○	○	○
京丹後市峰山クリーンセンター基幹的設備改良工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
平成28年度京丹後市一般会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	欠	○	○	○	○	
平成28年度京丹後市後期高齢者医療事業特別会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	欠	○	○	○	○	
平成28年度京丹後市宅地造成事業特別会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	欠	○	○	○	○	
京丹後市立幼保連携型認定こども園条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	欠	○	○	○	○	
京丹後市長、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部改正について	可決	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	×	○	○	○	
米軍Xバンドレーダー基地問題に関わる陳情書Ⅶ	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	欠	×	×	×	×	
(株)くみはま縣に関する陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	

《凡例 賛成：○ 反対：× 退席：退 欠席：欠 除斥：除 松本経一議員は議長職のため表決権はありません。》

# 政 務 活 動 費

29年度の政務活動費については、上半期の活動を終了し、下記のとおりの実績となりました。

会 派 無会派議員	上半期（4月～9月）政務活動概要	上半期分 交付確定額
新 星 会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月18日～19日 研修活動 東京都立川市「よくわかる市町村財務分析」</li> <li>・ 7月4日～5日 研修活動 東京都立川市「財務分析ステップアップ講座」</li> </ul>	395,940円
政 友 会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5月18日～19日 研修活動 東京都「第8回教育ITソリューションEXPO」</li> <li>・ 7月10日～12日 調査研究活動 北海道雄武町「有害鳥獣の捕獲個体処理について」 北海道滝上町「有害鳥獣の捕獲個体処理について」 北海道札幌市「市立図書館について」</li> </ul>	375,999円
谷口雅昭議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月2日～4日 調査研究活動 青森県八戸市「本のまち八戸について」 青森県三沢市「一次産品を活用した特産品の開発について」 青森県十和田市「図書館建設経過と運営について」 岩手県久慈市「中心市街地活性化の取り組みについて」</li> </ul>	120,455円
松本聖司議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月2日～4日 調査研究活動 青森県八戸市「本のまち八戸について」 青森県三沢市「一次産品を活用した特産品の開発について」 青森県十和田市「図書館建設経過と運営について」 岩手県久慈市「中心市街地活性化の取り組みについて」</li> </ul>	123,187円
松本経一議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月2日～4日 調査研究活動 青森県八戸市「本のまち八戸について」 青森県三沢市「一次産品を活用した特産品の開発について」 青森県十和田市「図書館建設経過と運営について」 岩手県久慈市「中心市街地活性化の取り組みについて」</li> <li>・ 8月8日～10日 研修活動 滋賀県全国市町村国際文化研修所「政策条例提案の実務」</li> </ul>	136,709円

※交付にあたり提出された交付申請書、調査研究等計画書、調査研究等報告書、実績報告書、その他添付資料につきましては、市議会ホームページ（<http://www.city.kyotango.lg.jp/shigikai/>）及び、市議会事務局で閲覧いただくことができます。

(平成29年7月31日・8月1日開催分)

# 市民と議会の懇談会

## まとめとご意見



### 主な内容

- ・6月定例会の概要報告
- ・市政に対する提言、議会活動などについて意見交換

## 懇談テーマ「市民と議会の懇談会に望むこと」

●懇談会における参加者の意見などをここに掲載させていただきます。

### 市民と議会の懇談会に望む意見や質疑

### テーマ以外の質疑・答弁

**意** 議会の中で行政課題に感じるもの、市民生活に密着したものをテーマに設定することが大切。

**意** 自分に関心のないテーマでは意見が出にくいのではないか。

**意** 行政の内容や、議会の状況を発信するときは、もっと簡単にわかりやすい情報の発信となるよう工夫が必要である。

**意** 議会報告を聞いても中味までは詳しくわからない。

**意** 議員が地域を積極的に回って市民の声を聞き、懇談会への出席を求めべきだ。

**問** なぜ懇談会で「市民と議会の懇談会に望むこと」とのテーマを設定されたのか。

**答** 参加者は、50代以上の男性が中心で、女性や子育て世代の参加が少なく感じています。多様な方の意見を聞くために、懇談会のあり方や仕組みを再検討するためです。

**問** 福田川の河川改修は、どれだけの効果があるか事前検証ができていますか。抜本的な治水対策と言えるのか。

**答** 平成38年までの国の事業として進めており、昨年はポンプ処理場が、2カ所で工事完了しています。事業の効果はしっかりと検証して行っていると考えます。

**問** Jアラートは、自然災害やミサイル攻撃等の際の緊急通報システムだが、避難訓練を実施していること聞いたことがない。行政が市民の生命を守るという積極的な姿勢が求められると思うが。

**答** 広報を通じて緊急時の避難の案内をしています。要だと考えています。改めて市へ伝えます。

**問** 5月31日の新聞に、地震被害の見直しによる被害想定が出ており、被害の大きさに驚いている。住宅の耐震改修が進んでいないが、耐震診断や改修にかかる補助率の見直

が必要だと思うが。  
**答** 現在、住宅の一部である居間や寝室だけを耐震化するシェルター工法の助成制度もあります。なぜ住宅の耐震化が進まないのか、調査すること必要だと考えます。



峰山会場の報告会

**問** 地元出身の偉大な野球人（野村克也氏）が寄付された記念品の展示に関する準備経費が予算化されたが、どのような内容になるのか。

**答** 旧網野町に寄付されていた記念品が約80点ありますが、現在その大部分が大宮ふれあい工房内に保管されています。今回、観光の観点からもアミティ丹後の内部を改修して常設展示を行います。  
**問** イノシシやクマなどが民家にまで出没し、家

庭菜園などの被害が出ている。個人では対応できないが、適当な方法は無いのか。

**答** 防護柵の補助金は、田や果樹園を主体にしています。国の補助金は減少しており、現在では大きな囲いについては3割の負担をお願いしています。家庭菜園については営農ではないので補助は難しいのが現状です。

**問** 山陰近畿自動車道の延伸は市の発展には欠かせない社会インフラである。少しでも早く開通を願うところであるが、進捗状況はどうなっているのか。

**答** (仮称)大宮峰山ICまで8年かかると聞いています。その先の延伸工事は未決定です。



大宮会場の報告会

# 市民の 声

まず自分たちが笑う事  
楽しむ事を大切に

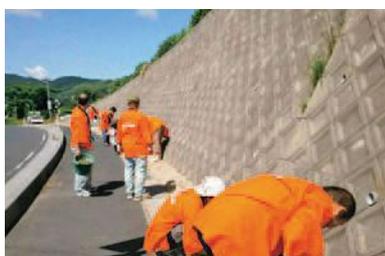


丹後町竹野  
竹野遊友倶楽部  
尾瀬 徹

若者の特権といえは自由な発想だ。その無謀とも思える発想を可能としていくのは、それを支える多くの仲間がいるからだ。しかし丹後地域は過疎化、少子高齢化で若者の数は減少の一途をたどっている。我々の住む竹野地区は既に限界集落と呼ばれる寸前までに来ている。どんなに素晴らしい若者の発想があったとしても、それを押し通していく力、支える仲間の少なさに新しい風を巻き起こせないのが現状だ。そんな中、我々の母校竹野小学校が廃校になり小学校区域だった竹野連合区内はさらに灯りが消えたようだった。

一つの地区で若者がいないなら、もう一回り大きな括りで若者を集めよう。我々は小学校区域だった地区の若者に呼びかけを始め、廃校の翌年「竹野遊友倶楽部」は誕生した。我々が目指したの

は、まず自分たちが笑う事、遊ぶような感覚で気楽に自分たちが楽しむ事。そうする事で次は家族を楽しませる、そして近所を、やがては地域を楽しませる。そんな思いを込めて、文字通り「遊ぶ」「友」と書いて竹野遊友倶楽部と命名、再び竹野連合地区に明かりを灯すべく、オレンジ色の法被に廃校となった竹野小学校の校章を背負って、我々は立ち上がった。



芝桜を植える準備をするメンバーたち

最初に取り組んだのは、斎宮神社の初詣の振る舞いだった。十数年前までは元旦深夜の参拝客に甘酒が振る舞われていた事を思い出し、その温もりを今にもう一度復活させようと話し合い、常に自分たちが楽しむ事を大前提にメニューを増やし、手作りのペットボトル灯籠で幻想的に飾り参拝客を迎えた。そうやって始めた初詣の振る舞いも、年を重ねる毎に地域への周知も広まり多くの参拝者で賑わいを見せている。春には初午祭が行われ無形文化財にも登録されている「テンキテンキ」と呼ばれる子供達の舞いが、少子化で舞い手不足により中止を余儀なくされ、何か変わりになるものかと話していると「馬(午)つながり」で竹馬リレーをするのはどうだろうか? そんな冗談まじりの安易な意見も、それは面白そうだと初午実行委員会へ提案し、それも既に今年の春で第五回目の開催を迎えている。



◎広報編集委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員   | 池田 恵一 |
| 委員   | 松本 聖司 |
| 委員   | 櫻井 祐策 |
| 委員   | 谷津 伸幸 |
| 委員   | 吉岡 豊和 |
| 副委員長 | 由利 敏雄 |
| 副委員長 | 谷口 雅昭 |
| 委員   | 藤田 邦生 |
| 委員   | 田中 邦生 |

## あとがき



台風の被害に遭われた皆様には、心からお見舞い申し上げます。

今回の台風18号は、局地的に記録的短時間大雨情報が出るような豪雨となり、床下・床上浸水など多くの被害が出ました。被害に遭われた皆様方の一日も早い復旧を望むものです。議会は市と連携し災害対応と災害復旧に努めています。

エコエネルギーセンターは発酵液の漏出事故がきっかけで、今後の再開までの期間や長期修繕費用等ことから、施設の廃止が決まりました。この施設は、未利用資源循環型社会の形成を図る拠点となっていました。大きな施策変更であり、今後は、資源循環の考え方の新たな方向性を示すことが求められます。

11月6日から、日本海の冬の味覚である間人ガニのシーズン到来となり、これからの季節が、多くの観光客で賑わうことを期待しています。